

# 昭友会ケアプランセンター

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 昭友会

## 令和2年度 事業報告

平成27年6月1日開所した当初は常勤1名、令和3年3月には常勤9名、非常勤1名となり、以下の件数を担当しました。

勤務体系等	業務内容
管理者1名（常勤兼務） （常勤9名・非常勤1名）	・管理業務/ケアプラン作成 （受け持ち常勤1名に対し35名以上）

サービス内容		合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
介護	件数	2,821	227	223	226	219	234	241	242	244	242	244	239	240
支援		916	74	79	77	73	76	78	74	74	77	76	76	82

新規利用者獲得は「迅速かつ丁寧な対応」を◎を基本とした以下の①～⑦を念頭に事業活動してきた。

◎どんな相談にも応じれること（プランにつながらなくても）

◎新規利用者ケアプラン作成が出来る状態であること

- ① 利用者選択意識の変化…他の事業所からのケアマネジャーを交代したいとの意向で事業所変更される方
- ② ツール・つながり…以前の担当や関係者などつながりからの紹介
- ③ 事業所閉鎖・退職…閉鎖やケアマネジャー退職に伴う後任探しにより紹介
- ④ 関係取引先…病院主催の懇話会への参加や病院との関係構築により紹介
- ⑤ 地域からの紹介…地域の関係者・認知症カフェのつながりでの紹介
- ⑥ 困難事例受け入れ地域包括支援センターから率先した困難事例を紹介
- ⑦ 岡山県介護支援専門員協会…県委員・岡山支部役員・中区世話人などを通じたつながりで紹介

※地域からの紹介やつながりでの担当についてはお断りすることなく、担当をさせていただいている。

ケアマネジャーとしての業務はもちろん、岡山市高齢者福祉課委託事業である基幹型「認知症カフェ：おかやまオレンジカフェぽかぽか」を今年度も取り組んだ。

今後も地域への認知症対策・地域住民の拠り所・地域の活性化に向けた努力を継続していく。

### ●質の向上への取り組み

介護保険のサービスだけにとどまらず、それ以外の医療・福祉・社会保険制度等のサービス、制度の活用を図り、関係機関との連絡調整を図ってより自立促進、機能向上、中立の立場に立った考えでのケアプランが作成できるよう努めた。特に岡山県介護支援専門員協会を中心とした活動にも積極的に参加し、横の連携に努めることや他の事業所の動向へも着目し、先を見越した「建設的なビジョンで安定した運営」

を目指した。

具体的には介護支援専門員として知っておくべき制度や知識の理解の為、各種研修会や講習会などに積極的に参加し利用者様の要望に応えられるようにしてきた。個々の介護支援専門員の利用者様の大きな状態変化は担当職員外でも対応できる様に報告連絡を職員間で行い、利用者の要望に対応できるようにすることや、利用者からの要望は職員各々が携帯電話を保持の上、24時間連絡体制を確保し利用者の相談に対応した。

#### ●介護支援業務の効率化を上げる取り組み

介護保険の法令順守努めながら、介護支援専門員が努めなければならない居宅介護支援業務と、ケアプラン作成や給付管理に付随する事務作業を、意識し効率的に業務ができるように事務作業を分担することで常勤職員全員、給付管理業務が出来るよう取り組んできた。介護保険請求に関する一連のシステム操作についても強化していく。

以上